

飲食業の 倒産最多

居酒屋など急増

1～8月

東京商工リサーチが14日発表した1～8月累計の飲食業の倒産件数（負債額1000万円以上）は前年同期比13・2%増の583件で、2011年を抜き過去最多となりました。新型コロナウイルスの流行で、特に居酒屋やすし店、そば店などの倒産が急増しました。

1、2月は人手不足の深刻化、それ以降は新型コロナウイルスに伴う夜間の営業自粛や訪日外国人旅行者（インバウンド）の消失が経営を直撃しました。同社は年間の倒産件数も過去最多となる可能性が高いとみており、「飲食業は小規模・零細企業が多く、廃業の動きも注目される」としています。

業種別では日本料理店やラーメン店などの専門料理店（152件）が最多。以下、食堂・レストラン（138件）、酒場・ビアホール（114件）が続きました。